



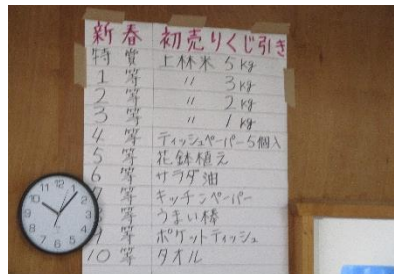
コミュニティ・スクールだより

令和7年1月号 東温市立上林小学校

「星の郷」さんの「そうこ市」

笑顔いっぱいの地域の皆さん～遠方からのファンの皆さんも♪～

1月11日(土)、「星の郷」さんの「そうこ市」で初売りが開催されました。開店前から、長い行列ができるほど大人気でした。10時の開店と同時に、炊き込みご飯、お弁当、パン、お惣菜、おはぎ、季節の新鮮野菜等、次々と売り切れていきました。はずれなしのくじ引きでは、特賞の上林米や日用品等、わくわくする景品でいっぱいです。お客さん同士の和やかな交流もあり、地域のコミュニティとしての笑顔あふれる場所となっています。今年、特賞を引き当てたのは、花山にお住まいの菅原喜美江さんでした。また、西条からお越しの女性お二人にインタビューをすると、「血ヶ嶺に登る際に『星の郷』さんでお弁当やおはぎを買い、山頂でいただくのが最高なんです！」とのことでした。その後、くじ引きで、上林小学校5年生のひよりさんが作った獅子舞のキーホルダー付きティッシュ5箱を当てて、大喜びされていました。「星の郷」の皆さんに、上林小学校の子供たちが作ったドングリのおもちゃやふるさと上林キーホルダーを景品として添えていただきました。「星の郷」の皆様、子供たちの学びを地域とつながる架け橋として御協力いただき、ありがとうございました。



ここに、児童が作った
キーホルダーが！





お店の奥には、上林小学校の子どもたちからのメッセージを掲示していただいています。

くじ引きで当たった上林米は、学校に展示しています。



1月12日 「どんど焼き」

1月12日(日)に、上林地域のどんど焼きが行われました。神事が始まる前には、お正月飾りやお札、お守りなどを持って来る人が、次々とどんどの中に入れていきます。地域の方に見守られながら神事を行った後、代表の方がどんどのわらに火を着けました。火はあっという間に燃え上がり、神様への感謝の思いをのせた煙は高く舞い上がっていききました。地域の方が集い、1年間の災いを払い、豊作や家内安全、無病息災などを願いました。また、温かいぜんざいが振る舞われていたり、竹に餅を刺して焼いたり、一致団結してもてなしをされる地域の方々の思いが表れていました。上林地域の皆様にとって、良い一年となりますようにと願っております。



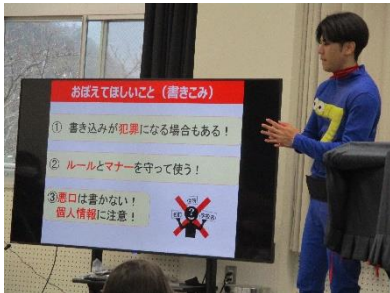
1月15日 参観日～各学級の様子～

今年度最後の参観授業を行いました。1・2年生は、生活科「新しい1年生を迎えよう」を学習し、新入児一日入学に向けて、上林小学校の行事や良いところなど紹介をしたいことについて考えたり、話し合ったりしました。3・4年生は、学級活動「より良い睡眠のために」で、よく眠ることの良さやぐっすり眠るためのポイントなどを学習しました。5・6年生は、家庭科「こんだてを工夫しよう」の学習で、ICTを活用しながら、給食を基に、栄養バランスを考えた1食分の献立を立てました。



1月15日 参観日 家庭教育学級「情報モラル教室」

参観授業の後、家庭教育学級「スマホ・ケータイ安全教室」を行いました。愛媛県警公認ヒーローのフィルタリングマンをお招きし、子供たちがインターネット犯罪の被害者や加害者にならないための対策を分かりやすく御説明していただきました。クイズをしたり、実際に起こった被害を動画で視聴したりしながら、SNSの正しい使い方について学ぶ機会となりました。後半には、ネット上での悪口や何気なく載せた写真等が個人情報の流出につながる危険性について親子で話し合うワークショップを行い、どんなことに気を付けると良いか考えを出し合いました。フィルタリングはもちろんのこと、インターネットの利用方法について、日頃から御家庭で子供たちとよく話し合っておくことが大切だと教えていただきました。



学校運営協議会委員の御感想より

- 今年度は、県警本部から「フィルタリングマン」を招いて、インターネットを使用する場合に気を付けることなどの教育が行われていた。不審者等の目に見える脅威は分別しやすいが、ネット上のバーチャルな脅威は身近で深刻だ。子供の頃からの安全教育が不可欠だと改めて思い知らされた。
- 家庭教育学級で親と子の対話を通して、情報モラルについて一緒に考える機会を設け、いじめ防止について学ぶ大変良い機会を開催していた。

1月20日 6年生「ソーラーパネルの見学」



1月20日(月)、6年生は理科「電気と私たちの生活」で、生活の中の電気について学習をしています。太陽光発電では、発電機を利用する代わりに光電池(ソーラーパネル)に日光を当てて発電しており、実際のソーラーパネルを見学するために、上林地域に出掛けました。本物のソーラーパネルを目の前にした子供たちは、その数や大きさ、設置日数やソーラーパネルの裏側等を知り、電気をつくる仕組みについてますます関心を高めました。2月には、四国電力の出前エネルギー教室を予定しています。5・6年生を対象に、「発電所と電気の道のり」の学習や、自転車発電体験、地球温暖化模型実験を計画しています。電気エネルギーの有効利用について興味・関心を持ち、これからの生活に生かしていく子供たちを育てていきたいと考えています。



子供たちの感想より

- 二人で400枚程のソーラーパネルを設置したことに驚きました。パネルの下のパワコンというところに電気を溜めたり、トランスが緑の線とつながっていて、そこに電気が通っていたりしました。ソーラーパネルを近くで見るのがなかったので、貴重な体験でした。6年 ゆう
- ソーラーパネルを近くで見て数えたら、全部で436枚だったので、すごいなと思ったし、地面にコードが埋まっている仕組みが分かったので、うれしかったです。他には、地面に置いているソーラーパネルの下にあった白い箱はパワコンということや、屋根に付いているソーラーパネルの電線をたどっていくと、電柱につながっていることが分かりました。6年 ゆめ
- ソーラーパネルを実際に見ると、すごく大きいし、とても大きくてびっくりしました。林さんの話を聞いて、ソーラーパネルだけでなく、コードやトランス、パワコンという細かい物も必要だということにも驚きました。それぞれいろんな役割があってすごいと思いました。6年 しおり
- ソーラーパネルを設置するのに、僕は大人数でやっていると思っていました。だけど、436枚のソーラーパネルを二人で組み立てたのがすごいなと感じました。また、ソーラーパネルにトランスという電圧を変えるところがあることを初めて知りました。6年 はるき



全校児童が力を合わせて準備をしました。

2月2日(日)は学芸会 地域の皆様のお越しをお待ちしております!

今年度も学芸会を開催いたします。全校児童23名が、合唱や合奏、劇を発表いたします。また、卒業生による独唱や里神楽の披露・体験等があります。お楽しみに!

